



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

2019年4月2日（火） 関東予選③／ムーンレイクGC 茂原C
大会結果のお知らせ

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選③>

◇4月2日◇千葉・ムーンレイクGC茂原C（15-18歳男子6719ヤード、パー72ほかカテゴリー別）

◇出場140人◇晴れ

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選③ 概況>

冷たい強風が吹くコンディションとなった。15-18歳の部男子は芳崎陽紀（神奈川・法政大第二高2年）が1オーバー73で2位に2打差をつけて1位となり、東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進んだ。同女子は、吉川くるみ（茨城・ルネサンス高3年）と鈴木優芽（埼玉・埼玉栄高2年）が3オーバー75でトップに並んだが、18番からのカウントバックで吉川が1位となった。13-14歳の部では、男子は黒田幸太郎（神奈川・日本大中3年）が6オーバー78で2位に1打差で、女子は6バーディーを奪って3アンダー69と参加選手中ただ1人アンダーパーをマークした手塚彩馨（山梨・白根御勅使中2年）が、それぞれ1位で東日本決勝大会に進んだ。

<関東予選③ 予選結果>

東日本決勝大会進出者は以下の通り。

▽15-18歳男子

- 【1位】芳崎陽紀（神奈川・法政大第二高2年）= 73
- 【2位】豊 太陽（千葉・黎明高1年）= 75
- 【3位】安保卓哉（東京・早稲田実業高1年）= 75
- 【4位】安保勇希（神奈川・慶應大1年）= 75
- 【5位】鵜沢幸輝（千葉・稲毛高2年）= 76
- 【6位】森 竜也（東京・駒場学園高3年）= 76
- 【7位】笠原大輝（東京・駒場学園高3年）= 77
- 【8位】中島 爽（東京・玉川学園高等部1年）= 77
- 【9位】島岡 聖（神奈川・東海大付相模高中等部3年）= 79
- 【10位】中川拓海（千葉・黎明高3年）= 80

▽同女子

- 【1位】吉川くるみ（茨城・ルネサンス高3年）= 75
- 【2位】鈴木優芽（埼玉・埼玉栄高2年）= 75
- 【3位】伊波川彩名（東京・筑波大付高2年）= 76
- 【4位】佐藤杏莉（千葉・麗澤高2年）= 77
- 【5位】廣岡絵美理（東京・日本ウェルネス高2年）= 79
- 【6位】勝亦令奈（静岡・加藤学園暁秀中3年）= 79
- 【7位】宇佐美彩華（千葉・印旛明誠高3年）= 80
- 【8位】高橋こはく（神奈川・座間中3年）= 82
- 【9位】松本菜々子（東京・目黒星美学園3年）= 82
- 【10位】野崎里咲（神奈川・湘南学院3年）= 82



写真：

上／15-18歳男子 芳崎陽紀

下／15-18歳女子 吉川くるみ

©IJGA2019

▽13－14歳男子

- 【1位】黒田幸太郎（神奈川・日本大中3年）＝78
- 【2位】伊藤颯汰（神奈川・青葉台中3年）＝79
- 【3位】金子佳矢（東京・早稲田実業中等部2年）＝79
- 【4位】三橋颯太郎（神奈川・森村学園中等部3年）＝80
- 【5位】清水拳斗（埼玉・東浦和中2年）＝80
- 【6位】北村 祐（東京・砧南中3年）＝80
- 【7位】板村凌太（東京・荏原第一中3年）＝81
- 【8位】川村尚史（東京・日本大第一中2年）＝81

▽同女子

- 【1位】手塚彩馨（山梨・白根御勅使中2年）＝69
- 【2位】川畑優菜（千葉・麗澤中2年）＝73
- 【3位】西山知里（山梨・山梨大付中2年）＝76
- 【4位】上田澪空（東京・多摩中2年）＝76
- 【5位】高野愛姫（東京・飛鳥中3年）＝77
- 【6位】渡辺世奈（千葉・勝田台中3年）＝78

▽11－12歳男子

- 【1位】中田一颯（千葉・高柳中1年）＝77
- 【2位】金森涉真（千葉・大津ヶ丘中1年）＝79
- 【3位】相浦大輝（神奈川・宮崎中1年）＝79
- 【4位】清野桜貴（東京・城山中1年）＝80
- 【5位】木暮凌太（千葉・旭東中1年）＝86
- 【6位】柴崎大和（東京・目黒第十一中1年）＝86

▽同女子

- 【1位】小林イリス（東京・聖学院中1年）＝78
- 【2位】遠藤桂音（神奈川・大津中1年）＝82
- 【3位】鈴木能々子（東京・鹿浜菜の花中1年）＝84
- 【4位】柳原由依（東京・武蔵野学園小6年）＝84
- 【5位】松木このみ（神奈川・中沢中1年）＝86
- 【6位】早坂梨花（千葉・有秋中1年）＝87
- 【7位】松本夏華（東京・筑波大付中1年）＝89

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

（注）4月以降の進学校、新学年で記載



写真：
13-14歳女子 手塚彩馨
©IJGA2019

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選③>

◇15－18歳の部男子◇4月2日◇千葉・ムーンレイクGC茂原C（6719ヤード、パー72）

芳崎陽紀（神奈川・法政大第二高2年）が「まあまあ」のプレーながら1オーバー73で回り、東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に1位で進んだ。不満な理由は「いったんは目標のアンダーパーになったんですけど、16番でダブルボギーにしてしまった」と悔やむ。14番で7メートルのバーディーパットを「ピンを立てたまま打ったら強かったんですけどピンに当たって入った」と、新ゴルフ規則の恩恵？ で1アンダーに。しかし、16番でグリーン左に外し、アプローチがグリーンを飛び出してバンカーに入って4オン2パットのダブルボギーにしてしまった。それでも強風の中でトップ通過。「ここ2回、予選落ちていたけど、今年は世界ジュニアに行きたいので少し試合に出て慣れてからこの大会に来た」という。2012年に9－10歳の部代表になったが「その時は余裕も英語もなかったの」と笑う。「東日本決勝大会で優勝を目指し、もう1回世界に行って今度は英語も日常会話ぐらいは何とかできるでしょうし、世界の同世代のレベルを知りたい」と、7年ぶりの世界代表を狙う。

＜PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選③＞

◇15－18歳の部女子◇4月2日◇千葉・ムーンレイクGC茂原C（6207ヤード、パー72）

吉川くるみ（茨城・ルネサンス高3年）と鈴木優芽（埼玉・埼玉栄高2年）が通算3オーバー75でトップに並び、18番からのカウントバックで18番パーの吉川がメダリストとなって東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進んだ。強風の中で「ピンの位置が難しかったので、バンカーとかに入れずに安全な方へ打つことを心掛けた」という。インスタートの13番ではうまくフォローの風に乗せて50センチにつけるバーディーも奪った。この予選には5回目の出場といい「去年は予選落ちした。今年はその時よりもドライバーがよくなって、フェアウエーに置けています」と成長をみせている。145センチと小柄だが、ドライバー飛距離は230ヤードある。東日本決勝大会に向け「グリーンを外しても確実にパーをとれるようにして、2位までに入って世界ジュニアに行きたいです」と意欲を見せていた。

＜PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選③＞

◇13－14歳の部女子◇4月2日◇千葉・ムーンレイクGC茂原C（6207ヤード、パー72）

手塚彩馨（山梨・白根御勅使中2年）が、参加選手の中でただ一人アンダーパーの3アンダー69をマークして、1位で東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進出した。強風の中で「試合での自己ベストを出せてうれしい」と会心のプレー。「パッティングがよかった。バーディーを6個取れました」とニコニコ。インスタートで最終9番ではグリーン左に外したが、20ヤードのアプローチが「イメージ通り7ヤードのところに落としてコロコロ転がって入った。寄って行くときに、ラインに乗っていたので『入れ、入れ』と思った」とチップインバーディーで締めた。ホッケーの盛んな山梨県南アルプス市白根で、小3からホッケーをやっていた。ゴルフとの両立が難しくなってきた、昨年12月にホッケーはやめたが「ホッケーのおかげでドライバーの飛距離が出るようになった」と、今は230ヤードほどに伸びているという。「東日本決勝大会ではアンダーパーを目標にしたい。そのためにもアプローチとパターの練習をして行きます」と、意気込んでいた。